

科目名： 発達心理学（講義 2単位）		担当教員名： 松田侑子	使用テキスト：出版社名・テキスト名 特になし
授業の到達目標及びテーマ： 心の発達に関する主要な理論を学習し、各発達段階における心理的な特徴に関する理解を深める。具体的には、認知機能の発達及び感情・社会性の発達、自己と他者の関係の在り方と心理的発達、誕生から死に至るまでの心身の発達について学ぶ。			
授業の概要： 発達心理学は、受精から死に至るまでの、心の発達の变化を扱う学問である。発達心理学における主な理論を通じて、発達段階や各発達課題について学び、発達の要因や、認知機能、感情・社会性等の発達について概観する。			
回	項 目	内 容	
1	オリエンテーション	発達心理学に関する基本的理解を図るとともに、講義全体の内容を通観し、受講生の課題意識を深める。また、授業の進め方についての共通理解を図る。	
2	発達心理学の基礎	発達に関する理論とその歴史的展開についての基本的理解を図る。また、発達の様相、発達の研究方法について考察する。	
3	発達の要因	発達に影響する要因として考えられてきた遺伝と環境を取り上げ、考え方におけるその歴史的展開について考察する。	
4	胎児期の発達	受精～出産に至るまでの発達について概説し、出産後のリスクファクターを考察する。	
5	身体と運動能力の発達	身体の発育、運動能力の発達、子どもの体力問題について概説する。	
6	知的機能の発達（1）乳児期～幼児期	ピアジェの認知発達理論を中心として、研究の知見を紹介しながら、感覚運動期・前操作期の認知的特徴について概説する。	
7	知的機能の発達（2）児童期以降	ピアジェの認知発達理論を中心として、研究の知見を紹介しながら、具体的操作期・形式的操作期の認知的特徴について概説する。	
8	感情と動機づけの発達	感情・情緒・情動に関する概念整理を行い、基本的感情の発達と文化、感情と親子のコミュニケーション、動機づけ・学習に対する意欲の発達について概説する。	
9	言語の発達	言語の獲得、発話の発達、言語発達の諸相、書きことばの習得について概説する。	
10	パーソナリティの発達	パーソナリティに関する概念的理解を深め、パーソナリティの形成やその測定に関して概説する。	
11	人間関係の発達	愛着やその理論に関する理解を深め、人間関係の重要性、家庭内での人間関係、子どもと教師との関係、子どもの仲間関係について考察する。	
12	自己意識の発達	自己意識の発達について、児童期や青年期を中心に理解を深め、自己意識の成熟とアイデンティティの形成について考察する。	
13	性と性意識の発達	性的発達と意識、性意識の発達、性役割とその獲得過程について概説する。	
14	心の問題	いじめや不登校など、心の問題の捉え方や、その援助について概説する。	
15	発達心理学をめぐる課題と展望	授業全体を通じて、発達心理学をめぐる今日的課題を理論と実践との往還の視点から考察し、心理援助の実践の在り方について展望する。	
参考書・参考資料等： 関 一夫・齋藤慈子（2018）『ベーシック発達心理学』東京大学出版会 その他各授業の学習テーマに応じて提示する。			
学生に対する評価方法： 受講態度 45%，試験 55%			